

普及活動情勢報告（令和8年7月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

農福連携の取り組み拡大を目指して ～須崎市でミョウガのパック詰め体験会～



ミョウガの詰め方を説明する
生産者

6月12日、須崎市の多機能型事業所 STEP ONE で須崎市農福連携分科会が、ミョウガのパック詰め作業体験会を開催し、STEP ONE の利用者7人と支援員2人、関係機関5人が参加しました。

農業改良普及課は、体験会に向けたミョウガ農家との打ち合わせと体験会当日の開催支援を行いました。

参加者からは、詰めるミョウガの重さや、詰める向き、傷の判断など多くの質問がありました。また、別の事業所からは、体験会には来られなかったが、STEP ONE に習いながら請け負ってみたいという意見がありました。

農業改良普及課は今後も、体験会の結果を関係機関や農家と共有し、農家と事業所のマッチングを目指していきます。

S AWACH I 使ってみませんか？ ～J A高知県津野山みょうが・なす部会目慣らし会～



S WACH I の利用申請をする
生産者

6月18日、29日の2日間、J A高知県津野山みょうが部会およびなす部会の目慣らし会でS AWACH I の登録推進を行いました。

農業改良普及課は、利用申請の方法に加え、気象データや出荷データ、S AWACH I ニュース、環境データの見える化について説明しました。

参加者からは、「申し込みしたのでログインの仕方を教えて欲しい」「品目を変えたのでS AWACH I 内でも変えたい」といった声があっただけでなく、呼びかけ後は追加の申し込みがありました。

農業改良普及課は今後も、関係機関とともにデータ駆動型農業の取組への働きかけを行い、生産者への支援を行っていきます。

農薬事故ゼロに向けて ～J A高知県津野山園芸部環境点検～



廃液処分方法を聞き取りする
普及職員

6月25日、J Aや梶原町、津野町と連携して、J A高知県津野山園芸部の環境点検を実施しました。

農業改良普及課は、農薬の安全使用をテーマに、園芸部全42戸を巡回し、作業場で薬液の調製や機器の洗浄方法などを確認しました。

生産者からは、「農薬管理は夫婦で役割分担している」「農薬一覧表を調製場所と保管場所に掲示している」といった声がありました。

農業改良普及課は今後も、産地の信頼向上のため農薬事故ゼロに向けた農薬安全使用を指導していきます。

農薬事故ゼロを目指して

～須崎・津野山・中土佐地区農産物直販所安心安全ネットワーク研修会～



農薬の適正使用について
説明する普及職員

6月25日、J A土佐くろしお営農資材センターにおいて、須崎・津野山・中土佐地区農産物直販所安心安全ネットワーク研修会を開催し、12人が参加しました。

農業改良普及課は、農薬事故を未然に防止するための農薬の適正使用や生産履歴帳簿の活用について説明しました。

参加者からは、「農薬の知識が少ない従業員が生産履歴帳簿をチェックできるか不安」「直販所から生産者に対して農薬の使用を注意していく」といった声がありました。

農業改良普及課は今後も、農薬事故ゼロを目指し、直販所や生産者に対して、農薬安全指導を行います。

シシトウの安定生産に向けて

～J A土佐くろしお露地・雨よけししとう部会出荷始め総会～



品種特性や高温対策について
説明する普及職員

7月7日、須崎市大間出荷場でJ A土佐くろしお露地・雨よけししとう部会出荷始め総会が開催され、生産者21人が参加しました。

農業改良普及課は、病害虫対策のポイントや品種の特徴、高温対策の実証ほについて説明しました。

生産者からは、「葵ししとうに代わる品種を知りたい」「遮光シートの開閉は時間で決めているが、タイミングが合っているのか分からない」との意見がありました。

農業改良普及課は今後も、病害虫対策や高温対策などの情報を提供し、シシトウの安定生産に向けて支援していきます。

「田舎ずし握ったぞー」 ～土佐の食文化伝承講座「田舎ずし」開催～



田舎寿司の握り方を教わる
参加者たち

7月12日、津野町「葉山の郷」で「よさこい高知文化祭2026」の一環として、土佐の食文化伝承講座「田舎ずし」を開催し、県内外から12人が参加しました。

農業改良普及課は、伝承人である久保川生活改善グループとともに、食材の見せ方などを検討するなど、事前準備や当日の開催支援を行いました。

参加者からは、「タケノコの下処理はどのようにしているか」「コンニャクは地元産か」など多くの質問があり、それに対して加工技術やレシピの紹介がありました。

農業改良普及課は今後も、地域で活動しているグループ等の活動支援を行っていきます。